



米軍再編と厚木基地問題

今年も5月の米空母キティホーク（以下「キティホーク」）横須賀入港以来、わたしたちは艦載機による騒音にさらされました。また、NLP（夜間連続離着陸訓練）は硫黄島への全面移転の要請にもかかわらず、厚木基地でも2日間実施、加えて夏にはキティホーク艦載ヘリコプターによる横浜市泉区への弾薬落下事故や、沖縄での米軍ヘリコプター墜落事故も起きています。沖縄の事故は日米地位協定の問題を改めて提起し、その改定や運用に関する本格的な議論を巻き起こしました。

戦後60年近くがたとうとしている今日、いわゆるトランスフォーメーションや在日米軍再編問題、そして日米安全保障条約の問題など、今まで以上に安全保障体制に関する話題が多く、基地問題への関心が高まっています。

今号では、厚木基地の航空機騒音と基地を取り巻く状況をお伝えします。

厚木基地の航空機騒音

空母キティホークと航空機騒音

横須賀を事実上の母港とする米海軍空母キティホークは、2月18日に横須賀を出港し、5月24日再び横須賀に入港しました。キティホークの艦載機は、空母の入港前に厚木基地に飛来し、空母が出港するまでの間、離着陸を繰り返しながらとまっています。

わたしたちに被害をもたらす騒音は、主にこれらの艦載機が訓練などに向かう際の離着陸と、夜間に実施されるNLPなどによるものです。空母への着艦は、非常に高度な技術を要することから、空母の出港前には夜間の着艦を想定した連続離着陸訓練がパイロットに課せられます。これがNLPといわれるものです。

空母の横須賀出港を控えた6月23日、厚木基地でもNLPを7月12日から16日まで低騒音機で実施する旨の通告がありました。市では在日米海軍司令官と同厚木航空施設司令官に対し、厚木基地では行わないよう中止を要請しましたが、厚木基地で実施予定の5日間のうち2日間はNLPが実施されました。

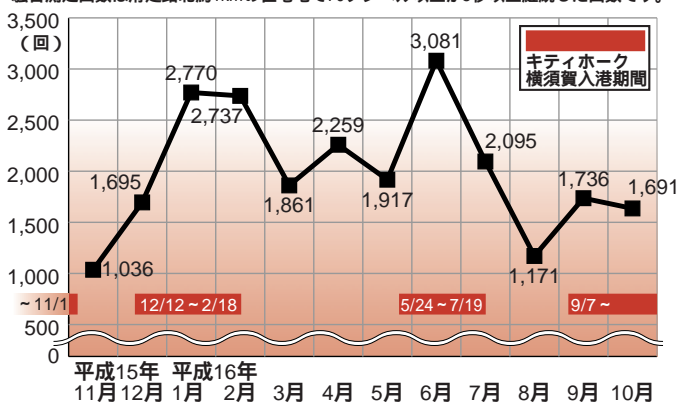
入港から約2か月たった7月19日、キティホークは横須賀を出港しました。キティホーク入港中、航空機騒音に対して市に

寄せられた苦情は405件でした。また、滑走路北1話における騒音測定回数(70デシベル(以下dB)以上が5秒以上継続)は5,292回、最高音は117dBでした。これは車のクラクションやビルの工事現場の音に匹敵するといわれています。

ここ数年の夏とは異なり7月下旬から8月は空母が出港していたため、騒音については比較的落ち着いていました。しかし、9月7日の横須賀入港後、その艦載機による航空機騒音に市民は再び悩まされています。

この1年間の月ごとの騒音状況(騒音測定回数)

騒音測定回数は滑走路北約1kmの住宅地で70デシベル以上が5秒以上継続した回数です。



いつ飛ぶのか、いつまで我慢すればいいのかなどの声が市に多く寄せられることから、飛行計画などの情報提供を国や米軍に

厚木基地を取り巻く状況

在日米軍再編問題と市長訪米

現在、米国は新たな脅威に即応できる態勢づくりなどのため、世界的規模で米軍の再編(トランスフォーメーション)を進めています。これは海外駐留米軍の削減や再配置などであり、在日米軍もその対象とされているようです。

土屋市長は4月25日から5月1日まで、基地問題の解決のため訪米しました。この訪米は、早期から米軍の再編を追い、注目していた中で、近い将来厚木基地もその動向と密接に関係すると確信して実施したものです。

はじめに市長は米国バージニア州にあるオシアナ基地と地元自治体であるバージニアビーチ市などを訪問しました。オシアナ基地は、厚木基地と同様に以前から周辺住民の間で騒音被害が問題となっており、現在スーパーホーネットの配備が進められている基地でもあります。

次に、ハワイ州ホノルルの米海軍太平洋艦隊司令部を訪問し、グリナート中将

対し強く求めています。しかし、現状ではNLP実施の通告以外には情報提供がなされていません。

(当時太平洋艦隊副司令官・現米海軍第7艦隊司令官)と会談しました。この会談では、はじめに厚木基地の騒音被害を強く訴えました。そしてトランスフォーメーションの進捗状況について、さらには、2008年に交替を予定しているといわれる空母の後継艦問題について意見を交換しました。

ここでは、土屋市長の質問に対し、グリナート副司令官は、ファゴ米太平洋軍司令官による、後継艦が原子力空母であるかのような発言があったことについて



オシアナ基地での意見交換

て、「そう言ったのはメディアであり我々ではない」と話し、また、キティホークの退役時期については「あらゆる修理をしながら運用する中で2008年まで就役できる」と回答するなど、具体的なやり取りが交わされました。

その後、6月にキャンプ座間への米陸軍第一軍団司令部移転問題、7月16日には厚木基地の移転問題など、さまざまな再編の内容が日本国内において大きく報道され、注目を集めることになりました。

9月下旬には、日米首脳会談において、小泉総理大臣は在日米軍再編に絡み、抑止力の維持とともに地元負担の軽減を要請し、これに対し、ブッシュ大統領は努力したいと述べたと報道されました。これを受けて、地元負担の軽減を含めた在日米軍再編問題が政府間で協議され始めています。

10月18日現在では、市などの問い合わせに対し、外務省は在日米軍再編問題について、「具体的なものに収斂していない。そのため、地元にも情報提供できない」としています。しかしながら、市民にとって最大の関心事でもあることから、市では日米両政府の動向を注視し、これらに在日米軍再編問題の推移の中で、効果的な働きかけを行っていきます。



米海軍第7艦隊司令官に着任したグリナート中将（8月6日横須賀）

スパーホーネットの配備と騒音問題への取り組み

昨年11月、キティホークに配備されている第5空母航空団所属の1飛行隊がF-14トムキャットからF/A-18Fスパーホーネットに機種変更されました。そして今年にはF/A-18Cホーネット1部隊がF/A-18Eスパーホーネットへ機種転換され、10月の初めに厚木基地へ飛来しました。現在、市では昨年のスパーホーネットの配備以来、騒音被害の増大につながるのか注視しているところです。

6月には在日米海軍厚木航空施設司令官エクストロム大佐に騒音状況の改善を求めました。さらに10月の飛来時には、飛行方法の工夫による騒音の軽減などを求める考えを示しました。今後とも国や米軍に対し、大幅な騒音軽減に向けた努力を強く求めています。

昨年11月以降の主な要請活動

| とき | 要請内容 | 要請者 | 要請先 |
|-----------|------------------------------------|--------------|--------------------|
| H15.11. 5 | 厚木飛行場周辺の航空機の騒音軽減措置の遵守について | 県と周辺7市 | 在日米海軍司令官ほか |
| 11.19 | 厚木基地の航空機騒音解消に係る要請 | 厚木基地騒音対策協議会 | 内閣総理大臣、駐日米国大使ほか |
| 11.20 | 厚木基地の航空機騒音解消に係る要請 | 厚木基地騒音対策協議会 | 在日米海軍司令官ほか |
| 12.19 | 年末年始における航空機の飛行自粛要請 | 大和市長 | 在日米海軍司令官、厚木航空施設司令官 |
| H16. 1.26 | NLP通告 | | |
| 1.27 | 厚木基地におけるNLPの中止要請 | 県と周辺7市 | 外務大臣、駐日米国大使ほか |
| 2.12 | 2月11日夜間、厚木基地周辺において見られた飛行状況を受けて | 大和市長 | 在日米海軍厚木航空施設司令官 |
| 3.17 | 厚木基地周辺における米空母キティホーク艦載機の飛行訓練について | 県と周辺7市 | 外務省、在日米海軍司令官ほか |
| 6.22 | 最近の厚木基地周辺における航空機騒音について | 大和市長 | 在日米海軍厚木航空施設司令官 |
| 6.23 | NLP通告 | | |
| 6.24 | 厚木基地におけるNLPの中止要請 | 県と周辺7市 | 外務大臣、駐日米国大使ほか |
| 6.25 | 厚木基地におけるNLPの中止要請 | 大和市長 | 在日米海軍司令官、厚木航空施設司令官 |
| 7. 8 | 平成17年度基地問題に関する要望書の提出 | 県基地関係県市連絡協議会 | 内閣総理大臣ほか |
| 7.20 | 米空母艦載機による弾薬落下事故にかかると要請 | 県基地関係県市連絡協議会 | 在日米海軍司令官、外務大臣ほか |
| 7.29 | 米空母艦載機による銃弾落下事故にかかると今後の安全対策についての要請 | 県基地関係県市連絡協議会 | 在日米海軍司令官、外務大臣ほか |
| 8.26 | 「厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望書」の提出 | 大和市基地対策協議会 | 外務大臣、駐日米国大使ほか |

厚木基地 Q & A

Q なぜ艦載機が飛ぶのですか。またいつ飛ぶのか分からないのですか。

A 空母艦載機のパイロットは練度を維持する必要から訓練が欠かせず、厚木基地での離着陸は訓練などに向かうための出入りであると考えられます。しかし、飛ぶ日や時間については、軍の機密が優先され、十分な情報が提供されません。航空機騒音は市民生活に多大な影響を与えることから、政府や米軍に対し情報公開を強く求めています。

Q トランスフォーメーションとはなんですか。

A テロなどの新たな脅威に即応できる態勢づくりのため、現在米國で進められている世界的規模の米軍再編のことであると言われております。この動きは在日米軍の配置にも大きな影響を与えることになりそうです。

Q ほかの基地に移転するという話があるようですが。

A 最近、厚木基地やNLPの移転といった報道がたびたびあります。これは市民と市が一体となって数十年来、厚木基地問題に粘り強く取り組んできたことの表れであると考えています。が、現時点では何らかの決定がなされていないわけではありません。以前から市の基本姿勢は整理・縮小・返還という基地問題の抜本的な解決です。



第8回 「市民自治区 が見えてきた？」

市民自治区は、地域の自治を確立することが大きな目的ですが、そこに住む人が「地域のために役立ちたい」と思ったときに活動できる場を提供することも目的の一つです。6月の地域説明会でも社会貢献をしたいという声がありましたが、市民自治区がえられることで、そんな機会を増やすことができます。

また、地域の意向を的確に市役所に伝えることも、市民自治区の役割の一つです。話し合いにより地域の声をまとめることで、地域の考えを市の事業に反映することができます。

地域説明会にご参加ください

これらの目的や、市内をおおむね10地区に分ける区域割り、段階的に進める構築の方法、市民自治区と自治会の仕事の違いなど、市民自治区検討会議で固まりつつある骨子案を、市民の皆さんに説明してご意見をいただきたいと思えます。

下記日程で地域説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。説明会では、市民自治区と合わせて検討を進めている総合計画についてもご意見をいただきます。

< 地域説明会日程 >

- 11月27日(土)
午後6時30分～9時 鶴間コミセン
- 11月28日(日)
午後2時～4時30分 中央林間コミセン
- 11月30日(火)
午後6時30分～9時 桜丘学習センター
- 12月 4日(土)
午後6時30分～9時 生涯学習センター
- 12月 5日(日)
午後2時～4時30分 渋谷学習センター

ホームページ: <http://www.city.yamato.kanagawa.jp/seisaku/sougoukeikaku/sokei7/jichiku/jichiku.html>



弾薬落下事故

キティホークが出港した7月19日、厚木基地を離陸した艦載ヘリコプターが洋上のキティホークへ向かう途中、横浜市泉区上空から200発の実弾を箱ごと落下させたという事故がありました。また、8月19日には米軍ヘリコプターが横浜市のみなどみらい21地区に緊急着陸するという事故も起きました。幸い人的被害はなかったものの、再びこのようなことが起こることも懸念されま

要請活動と 今後の活動

厚木基地に起因する諸問題を解決するため、市民、議会、行政が一体となって大和市基地対策協議会(会長・土屋市長)を組織し、要請や基地問題フォーラムの開催など、長年にわたり活動を続けています。去る8月26日には外務省、防衛庁、防衛施設庁、アメリカ大使館を訪問し、「厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望書」を提出しました。

大和市では、今後も基地対策協議会をはじめ、県や周辺各市とも連携して騒音問題の解消、さらには基地問題の解決に向けて取り組んでいきます。



国の安全保障の問題は、基地を抱える自治体の負担も考慮しながら国民全体で考え、決められていくことが望まれます。市では、トランスフォーメーションをはじめ、世界的な動向を見極めながら、厚木基地の騒音解消に向けた取り組みを進めていきます。

問い合わせは、市役所基地対策課基地対策担当 ☎ (260) 5310、✉ kichiへ。

- Q** 苦情はどこへ言えばいいのですか。
- A** 市では市民の皆さんが被っている航空機騒音の被害を真摯に受け止めていますが、直接、施設を提供している国へ伝えるという方法もあります。市のホームページ (<http://www.city.yamato.kanagawa.jp/kichi/mail.htm>) からお送りください。いただいた内容をそのまま国へお届けします。
- Q** 住宅防音工事は、航空機騒音の防止、軽減を図るため、国が実施しているものです。制度や内容、手続きなどについては横浜防衛施設局 ☎ 045(211)7113へお問い合わせください。
- A** 住宅防音工事は、航空機騒音の防止、軽減を図るため、国が実施しているものです。制度や内容、手続きなどについては横浜防衛施設局 ☎ 045(211)7113へお問い合わせください。